



2022年9月6日(火)
愛知県公立大学法人 愛知県立大学
担当 学務課 教養担当 中島
電話 0561-76-8832
E-Mail
kyoyo-kyoiku@puc.aichi-pu.ac.jp

教養教育科目「データサイエンスへの招待」が 文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (リテラシーレベル)」として認定されました

愛知県立大学は、2021年度に「県大世界あいち学」の名のもとに、教養教育カリキュラムを刷新し、新たな取り組みの一つとして、全学部必修のAPU教養コア科目「多文化社会への招待」と「データサイエンスへの招待」を開講しました。このたび、「データサイエンスへの招待」が文部科学省による認定制度「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」のリテラシーレベルに認定されましたので、お知らせします。

◆ APU 教養コア科目「データサイエンスへの招待」とは

現代社会で重要性を増しているデータサイエンスとはなにか、その入口で必要となる基本的な概念を学び、データサイエンスでできることを理解するとともに、現在と今後の情報社会に生きる者として必要なデータに基づく考え方を習得することを目的とします。併せて、データが重要な意味をなす時代における倫理についても広く理解する科目です。

◆ APU 教養コア科目「データサイエンスへの招待」の特徴

(1)1年次必修科目

本学の文理5学部全学部全学生による1年次必修が定められています。各学部の学生を均等に配置した学部融合クラスを14設け、全クラスがすべて統一した教材で統一した内容の講義がおこなわれます。

(2)学部横断・文理融合型授業

主として情報科学部教員のコーディネートによる、愛県大の5学部教員が連携した文理融合型授業です。5学部の、異なる専門分野の教員による事例紹介を通じて、複数分野におけるデータの収集方法・解析方法・発表方法の実例に触れることで「文理の枠にとらわれることなく自身の専門分野に活用を見出せる能力」を身に着けることを目標としています。

14のクラスはすべて、異なる学部[※]に属する学生同士が共学できるように配置され、グループディスカッションで専門の違う学生の意見を聞くことにより、多様な視点を獲得できる設計となっています。

(3)地域密着型教育

愛知県および東海地方に関する身近なデータを利用して演習をおこなうことで、学生の関心を喚起すると同時に、地域密着型思考の醸成を目指しています。

◆ 活動の成果

2021 年度開講初年度には、履修者である 1 年次生 752 名うち 733 名がこの科目を修了。8 月 24 日付で、文科省による「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」として認定されました。



MDASH
Literacy
Approved Program for Mathematics,
Data science and AI Smart Higher Education
**数理・データサイエンス・AI
教育プログラム 認定制度**
リテラシーレベル

認定ロゴマーク

(認定有効期間 令和 9 年 3 月 31 日)

◆ 担当教員

- ・ 情報科学部 鈴木拓央准教授（科目 正コーディネータ）
専門： 知能ロボティクス 医療福祉工学 <https://researchmap.jp/takuo-suzuki>
- ・ 情報科学部 大久保弘崇講師（科目 副コーディネータ）
専門： プログラミング言語 <https://researchmap.jp/read0056556>

◆ お問い合わせ

愛知県立大学 学務課教養教育担当（中島）
電話 0561-76-8832
E-Mail kyoyo-kyoiku@puc.aichi-pu.ac.jp

(参考)文科省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシーレベル)」とは

“学生の数理・データサイエンス・AI への関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力（リテラシーレベル）や、課題を解決するための実践的な能力（応用基礎レベル）を育成するため、数理・データサイエンス・AI に関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程（教育プログラム）を文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。”

※文部科学省ウェブサイトより引用

「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル・応用基礎レベル）」の認定・選定結果について | https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/1413155_00011.htm